

令和2年大綱白里市議会

第1回定例会市長事務方針

2月21日から3月19日まで、市議会第1回定例会が開催されました。開会日に市長から令和2年度の事務方針が述べられましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

当初予算今後の財政運営

当初予算編成は、新規事業の抑制、経常経費の徹底した削減、既存事業の休廃止または縮小に取り組む一方、昨年の台風等による一連の被害を踏まえ、防災対策には重点的な予算配分を行ったことから、一般会計の予算規模は、146億3百万円となりました。この結果、財政調整基金の残高は4.1億円となり、今後は、基金に頼った財政運営を続けていくことは困難な状況です。

このまま収支改善に向けた対策を講ずることなく、財政運営を行った場合には、近い将来、赤字決算になることは確実な状況であり、このような状況を回避するためには、早急に必要な限りの財政対策を実施し、財政体質の改善を図っていく必要があります。そこで、財政健全化に向けた緊急的な取り組みを着実に推進し、持続可能な財政運営の確立に努めていきます。

総合計画・総合戦略

「総合計画策定市民懇談会」から、「大綱白里市のまちづくり」への提案」として、市の課題の解決策や、地域の活性化に向けた提案をいただきました。

第1回大綱白里市総合計画審議会を開催し、総合計画の



▲総合計画審議会

被災者支援

災害救助法の対象となる方々に対して、被災住宅について日常生活に不可欠な部分の応急修理の支援を行っており、また、災害救助法の対象とならない方々に対しては、国や県の補助金を活用し、修繕費用が一定の金額を超える場合に、その工事費の一部を支援しています。被災住宅の補修等のために必要な資金を金融機関から借り入れた方々への利子補給も、併せて申請

の受付を行っています。被災した農業施設は、各農家の被害状況をもとにした補助金の算定結果がまとまったことから、県への報告を行いました。南玉地区で発生した土砂崩れは、請負業者との間で土砂撤去に関する契約を締結しました。

防災対策

昨年の災害時の対応について、市として対処すべき課題を明らかにするため、「災害対策庁内検討会議」を設置し、検証作業を進めています。現在、その下部組織である各部署で詳細な検証を行っています。今後、6月ごろまでには最終的に取りまとめ、次年度以降の災害対応に役立てます。令和2年度総合防災訓練や土砂災害避難訓練などは、より一層、地域の特性に応じた住民主体の実践的な訓練となるよう工夫します。

新型コロナウイルスへの対応

ホームページで、新型コロナウイルス感染症についての緊急情報を掲載し、市民への情報提供を行うとともに、関係各課による新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を開催し、庁内における情報の共有と現段階における具体的な対策についての確認を行いま

した。今後も、情報の収集や状況の把握に努めながら、状況が変化した場合には、直ちに対策本部を設置し、「大綱白里市新型コロナウイルス等対策行動計画」に準じて必要な措置を講じます。

福祉に関する相談窓口

多種多様な困りごとを抱えた方々に対し、各種福祉サービスを円滑に提供していくためには、既存の制度や分野を超えた横の連携が不可欠です。保健福祉の関係部署間で相談支援のあり方について検討を重ねてきましたが、市民がさらに利用しやすい窓口となるよう、今後、相談支援業務の手順書の統一化や部署間連携を推進する担当職員を配置するなど、順次改善を図ります。

障がい福祉

障がいのある方の日常生活を地域全体で支える仕組みづくりに向け、「障がい者計画」、「障がい福祉計画」、「障がい児福祉計画」の策定に取り組みしており、障がい者手帳をお持ちの1,150人の方を対象にアンケート調査を実施したところ、全体の47.6%、547人の方から回答をいただきました。

子育て支援

子育て交流センターは、4月1日のオープンに向けた準備を進めています。子育て交流センターで行われる「児童館」、「子育て支援センター」、「学童保育」、「放課後子ども教室」の事業が有機

的に連携することにより、複合施設としての機能が十分に発揮され、子育て世帯だけでなく、多くの市民に魅力を感じていただけるよう、創意工夫ある施設の運営に努めます。私立季美の森幼稚園が、千葉県県の認可を受け、本年4月から認定こども園として運営を開始することとなり、3歳児から5歳児36人分の保育機能を担うこととなりました。

高齢者福祉

策定を進めている「第8期大綱白里市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」は、市民、事業者へのアンケート調査を実施し、調査結果の集計・分析を進めています。

男女共同参画

第2次大綱白里市男女共同参画計画の策定に向け、20歳以上の市民1,500人、市内事業所300件を対象として、男女共同参画に関する意識調査を実施しました。その結果、女性の地位について改善傾向が見られるものの、政治の分野などにおいては、依然として男性が優遇されているという意識が高いことがうかがえました。

住民協働事業

令和2年度の住民協働事業は4団体の事業を採択し、現在、採択団体との協議を進めているところです。

下水道事業

令和2年度の下水道事業は4団体の事業を採択し、現在、採択団体との協議を進めているところです。

下水道事業の経営基盤強化

観光関係

今回のオリンピック・パラリンピックでは、7月24日から9月6日までの開催期間を中心に、本市にも国内外から多くの観光客が訪れることが予想されます。市としても、おもてなしの心で観光客をお迎えするとともに、今回の訪問を機に本市の魅力に触れ、繰り返し訪れていただけるよう、積極的にアピールしたいと考えています。

農業振興

地元と協議を重ねてきた山辺地区の農業基盤整備事業は、事業計画が県で承認されました。今後は、土地改良法に基づく所定の手続きを進め、令和3年度の国庫補助事業の採択を目指します。

公共交通

白里地区のコミュニティバス「はまバス」は、4月から、これまでの地区内循環ルートに加え、大綱病院やアミリイ、大綱駅、市役所などを経由する市街地ルートを加えた新たな運行計画がスタートする予定です。

大綱病院

大綱病院では収益増に向けた取り組みを進めてきましたが、医療の質や患者サービスの向上を図るため、人的配置や設備投資等による経費の増加が避けられず、依然として厳しい経営状況が続いています。こうした中、これまで副院長を務めていた安藤聡氏が病院長に就任し、志村前病院長は、地域医療連携構想・病院経営の改善を担当する特命院長の職を担うこととなりました。

デジタル博物館

デジタル博物館については、公益財団法人図書館振興財団の提案型助成事業に採択されたことから、2年をかけ、さらなる内容の充実を図っていきます。

駅周辺整備

大綱駅東土地地区画整理事業は、1人の地権者が申し立てた再審査請求の審理について、国土交通省に指名された審理員より、「審理を終結し、3月2日に国土交通省へ意見書を提出する」旨の通知が届いたところ。今後、国土交通省から裁決が出された段階で、その内容について県と十分協議した上で、適切に対応したいと考えています。土地画整理法に基づく除却工事等は、適法かつ正当な実施についての検討を進めます。

スポーツの振興

「第50回山武郡市民駅伝競走大会」が開催され、本市代表は、見事、総合優勝を成し遂げました。今後は、各種スポーツの振興に努めるとともに、次期スポーツ推進計画の策定に向けて準備を進めます。

小中学校施設整備事業

小中学校の空調設備は、先行して着手した大綱小学校、

瑞穂小学校、増穂小学校、白里小学校の4校で工事が完了しました。残る6校は、昨年の台風等による災害の影響により、年度内の工事完了は困難な状況となりました。今後は関係機関と十分連携を図り、今年の夏には全小中学校で空調設備が利用できるよう、取り組みます。